

岡山市生物多様性地域戦略中間報告

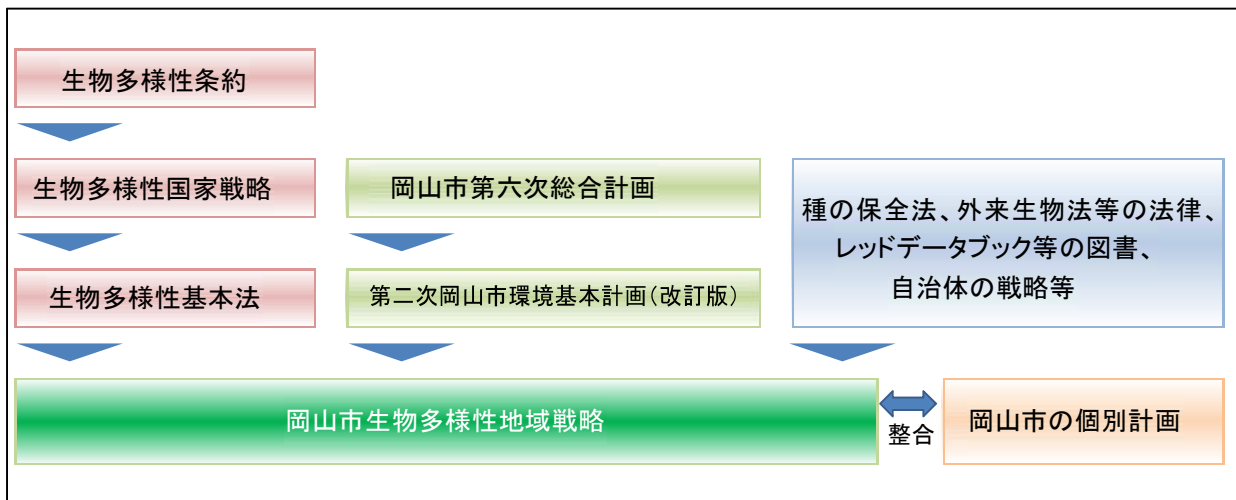
1 概要

生物多様性の保全と持続可能な利用に関する施策を総合的・計画的に推進するため、生物多様性国家戦略に基づく生物多様性基本法、岡山市第六次総合計画および第2次岡山市環境基本計画（改訂版）等を踏まえ、生物多様性基本法第13条に基づき、平成28年度に岡山市生物多様性地域戦略（以下、「戦略」という。）を策定した。

策定から5年が経過したことを踏まえて、戦略において成果指標として挙げられている数値目標の実績について整理し、それぞれの指標に係る実績と執行状況をまとめた。

また、令和3年6月、第2次岡山市環境基本計画（改訂版）が見直されたことに伴い、その内容を戦略の成果指標に反映させる。

戦略の位置づけ



区分 \ 年度	2016	—	2020	2021	—	2025	2026	—	2030
岡山市第6次総合計画	前期中期計画			後期中期計画					
第2次岡山市環境基本計画（改訂版）				見直し (2021.6)					
岡山市生物多様性地域戦略				中間					
生物多様性国家戦略				次期生物多様性国家戦略					

※2020年度以降は次期生物多様性国家戦略の策定まで「生物多様性国家戦略2012-2020」を一部継続

2 戦略策定時（2016年度）の成果指標

戦略では測定可能な指標として、第2次環境基本計画と関連性が深い項目を抽出している。

成果指標 【単位】	成果指標の説明・根拠	2015年度	中間目標値 (2020年度)	目標値 (2025年度)
種の保存法の指定種等の実態調査対象地域の拡大	実態調査対象地域の範囲拡大。	生息地	生息地周辺まで拡大	他の地域への拡大
森林や原野の割合【%】	岡山市の自然の豊かさを代表する森林の保全を推進し、現状の林野率を維持する。	44.7	44%台 (現状値を維持)	44%台 (現状値を維持)
地球温暖化防止行動の実践度(市民意識調査)【点】	地球温暖化防止行動の実践度70点(100点満点)をめざす。	46.4	58	70
西川・枝川緑道公園の利用者数【人】	西川・枝川緑道公園の魅力を高め、1日あたりの利用者数の20%増加をめざす。	692 (2014年度)	765	780
自然体験・文化伝承に関する公民館講座数【講座】	環境講座の中でも、自然体験や文化伝承などをテーマとした講座の数。	29	40	50
エコファーマーの認定者数【戸】	県が認定するエコファーマーの岡山市認定農家数。	109	200	300
ESDプロジェクトの参加組織数【組織】	地域全体で300以上の組織が参加していることをめざす。	246	300	300
地域単位の多様な組織が連携して行うESDプロジェクトの数【事業】	中学校区等の地域単位で連携して行うプロジェクトの増加をめざす。	15	37	37
地域環境教室の新規実施地区数【地区】	市民が実施主体となって開催する環境学習活動の数。	5	10	15
身近な生きものの里認定地区数【地区】	毎年度1地区の認定をめざす。	14	20	25

3 成果指標の実績推移

戦略策定から昨年度までの成果指標の実績と執行状況をとりとまとめた結果を下表に示す。

成果指標 【単位】	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	評価
種の保存法の指定種等の 実態調査対象地域の拡大	生息地	生息地	生息地	生息地	生息地	横ばい
執行状況	種の保存法の指定種のうち、アユモドキのみ継続的に調査している。					
森林や原野の割合【%】	44.7	44.7	44.7	44.7	44.7	横ばい
執行状況	貝殻山市民憩いの森や瀬戸町森林公園を適正に管理する等、森林の保全を図り、林野率を維持					
地球温暖化防止行動の実 践度（市民意識調査） 【点】	未調査	50.3	未調査	49.3	未調査	横ばい
執行状況	エコドライブ講習会やライトダウンキャンペーンなどのイベント開催や、環境家計簿の取組を通じ引き続き啓発する。					
西川・枝川緑道公園の利 用者数【人】	未調査	未調査	未調査	未調査	未調査	評価 不能
執行状況	複数の調査地点・調査日から推計したもので非常に曖昧な数値となっている。					
自然体験・文化伝承に関 する公民館講座数 【講座】	32	32	27	57	20	横ばい
執行状況	環境講座に位置づけされない文化伝承講座もある。また、2020年度は新型コロナウイルス感染症のため講座開催数が減少した。					

成果指標 【単位】	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	評価
エコファーマーの認定者数【戸】	105	92	88	79	76	低下
執行状況	計画期間（5年間）が終了した者が更新を行う際、作付面積の拡充など厳しい要件があるため、高齢化も合わせて更新申請しない傾向がある。					
ESD プロジェクトの参加組織数【組織】	246	274	288	307	323	上昇
執行状況	岡山 ESD プロジェクト活動の積極的な PR 等によって、参加団体数は目標値に向けて着実に増加している。					
地域単位の多様な組織が連携して行う ESD プロジェクトの数【事業】	15	15	15	15	15	横ばい
執行状況	市内 37 中学校区のうち、ユネスコスクール校のある 15 中学校区は、活動報告書の提出等により ESD 活動を把握しているが、それ以外の中学校区の取り組み状況について把握できない。					
地域環境教室の新規実施地区数【地区】	6	8	9	15	21	上昇
執行状況	プログラムの更新（廃止→立ち上げ）も新規扱いとしており、この指標では全体像が捉えにくいいため、適切な指標の検討が必要					
身近な生きものの里認定地区数【地区】	14	16	16	17	21	上昇
執行状況	ほぼ計画どおりに増加しており、引き続き認定地区数の増加に努める。					

4 2020 年度の実績と目標値の比較

2020 年度の各指標の実績及び中間目標値を比較した結果を下表に示す。

成果指標 【単位】	2020 年度	中間目標値 (2020 年度)	目標値 (2025 年度)
種の保存法の指定種等の実態 調査対象地域の拡大	生息地	生息地周辺まで 拡大	他の地域への拡 大
森林や原野の割合【%】	44.7	44%台 (現状値を維持)	44%台 (現状値を維持)
地球温暖化防止行動の実践度 (市民意識調査)【点】	49.3 (2019 年度)	58	70
西川・枝川緑道公園の利用者 数【人】	692 (2014 年度)	765	780
自然体験・文化伝承に関する 公民館講座数【講座】	20	40	50
エコファーマーの認定者数 【戸】	76	200	300
ESD プロジェクトの参加組織 数【組織】	323	300	300
地域単位の多様な組織が連携 して行う ESD プロジェクトの 数【事業】	15	37	37
地域環境教室の新規実施地区 数【地区】	21	10	15
身近な生きものの里認定地区 数【地区】	21	20	25

※赤字は中間目標値が未達成

5 第2次岡山市環境基本計画（改訂版）の見直しに合わせた成果指標の変更

戦略の成果指標は主に第2次岡山市環境基本計画（改訂版）から抽出している。令和3年6月の第2次岡山市環境基本計画（改訂版）の見直し内容を踏まえ、これと整合を図るため、成果指標を変更する。

(1) 変更する成果指標

ア 種の保存法の指定種等の実態調査対象地域の拡大

成果指標を第2次岡山市環境基本計画（改訂版）に沿った表現にするため、指標名を「種の保存法の指定種等の実態調査対象地域の拡大」から「アユモドキの実態調査対象地域の拡大」に変更する。

	成果指標 【単位】	成果指標の説明・根拠	目標値 (2025年度)
変更前	種の保存法の指定種等の実態調査対象地域の拡大	実態調査対象地域の範囲拡大	他の地域への拡大
変更後	<u>アユモドキ</u> の実態調査対象地域の拡大	実態調査対象地域の範囲拡大	他の地域への拡大

イ 地球温暖化防止行動の実践度（市民意識調査）

単位に間違いがあったため、「点」から「%」に改める。

また、3の実績推移から現状の目標値を達成することは困難であることから、目標値(2025年度)を「70」から「60」に変更する。

	成果指標 【単位】	成果指標の説明・根拠	目標値 (2025年度)
変更前	地球温暖化防止行動の実践度（市民意識調査）【点】	地球温暖化防止行動の実践度 70点(100点満点)をめざす。	70
変更後	地球温暖化防止行動の実践度（市民意識調査）【%】	地球温暖化防止行動の実践度 <u>60%</u> をめざす。	<u>60</u>

ウ ESD プロジェクトの参加組織数

現状で当初の 2025 年度目標値「300」を既に達成しており、また実績推移をみると数が着実に増加していることから、目標値（2025 年度）を「300」から「370」に変更する。

	成果指標 【単位】	成果指標の説明・根拠	目標値 (2025 年度)
変更前	ESD プロジェクトの参加組織数【組織】	地域全体で 300 以上の組織が参加していることをめざす。	300
変更後	ESD プロジェクトの参加組織数【組織】	地域全体で <u>370</u> 以上の組織が参加していることをめざす。	<u>370</u>

エ 地域環境教室の新規実施地区数

現指標では環境学習の開催状況の全体像を捉えきれないため、毎年、継続的な調査をしている自然体験プログラムの参加者数を新たな成果指標とする。これに伴い指標名を「地域環境教室の新規実施地区数」から「地域環境教室の年間参加者数」に、目標値（2025 年度）を「15 地区」から「16,000 人」にそれぞれ変更する。

	成果指標 【単位】	成果指標の説明・根拠	目標値 (2025 年度)
変更前	地域環境教室の新規実施地区数【地区】	市民が実施主体となって開催する環境学習活動の数。	15
変更後	<u>地域環境教室の年間参加者数</u> 【人】	自然体験プログラムへの年間参加者数の増加	<u>16,000</u>

(2) 削除する成果指標

ア 西川・枝川緑道公園の利用者数

西川・枝川緑道公園については利用者数を調査することがなくなったため成果指標から削除する。

	成果指標 【単位】	成果指標の説明・根拠	目標値 (2025 年度)
削除	西川・枝川緑道公園の利用者数【人】	西川・枝川緑道公園の魅力を高め、1 日あたりの利用者数の 20%増加をめざす。	780

イ 地域単位の多様な組織が連携して行う ESD プロジェクトの数

現在、ユネスコスクールは 15 中学校区で指定されているが、今後、さらに指定する予定はないため成果指標から削除する。

	成果指標 【単位】	成果指標の説明・根拠
削除	地域単位の多様な組織が連携して行う ESD プロジェクトの数【事業】	中学校区等の地域単位で連携して行うプロジェクトの増加をめざす。

6 2025 年度までの成果指標

5 の結果を反映した成果指標を下表のとおり示す。

今後の計画期間はこれを指標に取り組むこととする。

成果指標 【単位】	成果指標の説明・根拠	現状値 (2020 年度)	目標値 (2025 年度)
アユモドキの実態調査対象地域の拡大	アユモドキの実態調査対象地域の拡大	生息地	他の地域への拡大
森林や原野の割合 【%】	岡山市の自然の豊かさを代表する森林の保全を推進し、現状の林野率を維持する。	44.7	44%台 (現状値を維持)
地球温暖化防止行動の実践度（市民意識調査）【%】	地球温暖化防止行動の実践度 60%をめざす。	49.3 (2019 年度)	60
自然体験・文化伝承に関する公民館講座数【講座】	環境講座の中でも、自然体験や文化伝承などをテーマとした講座の数。	20	50
エコファーマーの認定者数【戸】	県が認定するエコファーマーの岡山市認定農家数。	76	300
ESD プロジェクトの参加組織数 【組織】	地域全体で 370 以上の組織が参加していることをめざす。	323	370
地域環境教室の年間参加者数【人】	自然体験プログラムへの年間参加者数の増加	4,453	16,000
身近な生きものの里認定地区数【地区】	毎年度 1 地区の認定をめざす。	21	25